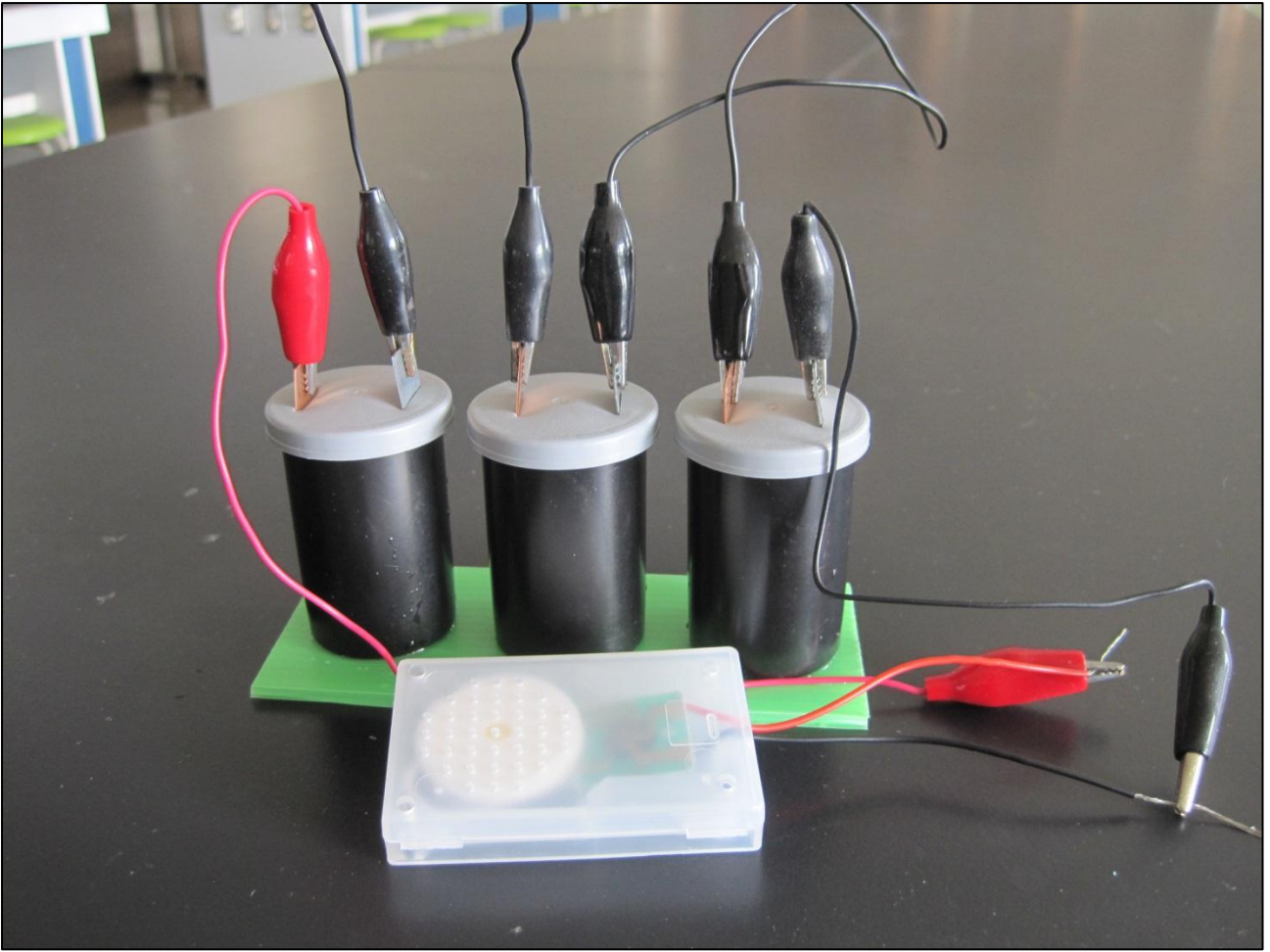


# フィルム水電池

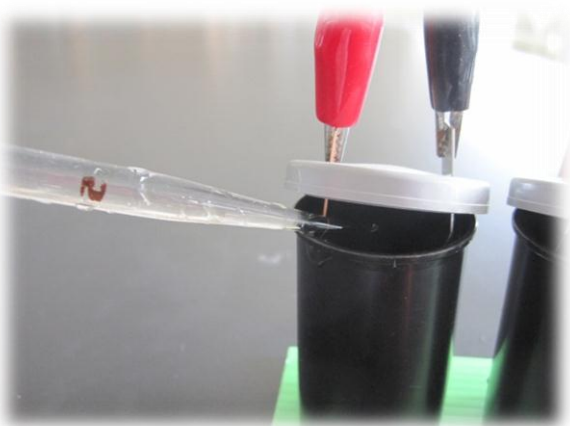


フィルムケースに銅板と亜鉛板（もしくはアルミ板）を差し込んだものを3つつなげてあります。銅板が+極、亜鉛板（もしくはアルミ板）が-極になります。このつくりは、海鋒仁子先生の考案になります。

フィルムケースの中にさまざまな液体を入れて、電子オルゴールの音を聞き比べてみましょう。

食塩水、オレンジジュース、清涼飲料水などで音の鳴り方の違いを比べてみましょう。フィルムケース1個の時、2個の時、3個の時を比べてみましょう。

また、このつくりでは、水道水でも電子オルゴールの音が鳴ります。ということは、水道水にも電解質が含まれているということです。



水道水で電子オルゴールを鳴らしているところに、左図のように食塩水を入れてみるとどうなるでしょうか。

さまざま試したいことが思い浮かんでくる素材です。

フィルムケースがあるうちに、試してみたいかたがでしょうか。